



藤本 みのる 通信

Vol 247

2016年12月20日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

子どもの貧困対策を一般質問で提起

所得格差・貧困拡大が進んでいる現代社会において、子どもの貧困は必然的に生じることですが、私は、貧困を放置する社会を変えるための取り組みを、市のまちづくりの基本にすえるべきだという立場から、対応を具体的に示して質問しました。

①小中学生向けの就学援助制度について、申請方法と給付内容の改善、入学準備費の入学前支給を求めました。

答弁 平成30年度の新入学生から支給可能かを含めて、前向きに検討してまいります

②子ども医療費助成の拡充について、すべての子どもを対象にした施策は、必ず貧困世帯の支援となることを強調して対応を求めました。

答弁 現在のところ、対象年齢の拡大は考えておりませんが、今後も総合的な子育て支援に努めたい

③子どもの貧困対策への市長の決意を求めました。

答弁 右の答弁書に続けて、石井市長はアドリブで幼児期の重要性の認識とともに、「私は誰よりもその重要性を認識しているつもりだ」と答弁されました。

今度の質問で、「子どもの貧困を放置しない」との提起に応える積極性を一歩引き出すことができました。

子どもの貧困対策への市長の決意について

質問 重要性をどう認識しているか

答弁 私は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがないように、また、貧困が世代を超えて連鎖することがないように、必要な環境整備と教育の機会均等を図るため、「子どもの貧困対策に関する大綱」に掲げる各施策を関係機関相互の密接な連携のもと推進することとしており、重要性を認識しております。

【藤本みのる活動日誌】

12月10日(土) 憲法学習会「憲法は宝物-自民党改憲草案がねらうもの」

12月12日(月) 市議会一般質問

12月14日(水) 総務産業常任委員会

12月15日(木) 社会文教常任委員会(傍聴)

12月16日(金) 定例会本会議(最終日)